

<実践報告>

横浜市市民プロジェクト「Yocco18」公式 SNS 投稿の英訳を通じた、横浜の魅力の英語圏への紹介活動

宮本 恵太

青山学院大学大学院 文学研究科英米文学専攻 博士前期課程 修了生

Activities to Introduce the Appeal of Yokohama to English-Speaking Countries:
English Translation of Official Posts on X by Yokohama City Citizen Project “Yocco18”
and Reposting the Translated Versions on Instagram

MIYAMOTO Keita

Department of English and American Literature, Graduate School Master’s Course of Literature,
Aoyama Gakuin University, Alumni

キーワード：横浜の魅力、市民プロジェクト、SNS、英訳、社会連携

はじめに

本稿では、神奈川県横浜市の地域魅力発見プロジェクト「Yocco18」運営者（以下「Yocco 株式会社」という）と連携して筆者が2023年4月より不定期で行っている「Yoccoの1日」英訳活動について、活動を始めた背景や活動内容、および活動の成果についての報告を記述する。本活動は筆者が同社との合意のもと、ボランティア活動として行っているものである。なお、当該の活動は青山学院および青山学院大学の教育活動とは無関係であり、筆者以外に本学関係者は一切関与していない。

1 活動内容

(1) 背景

神奈川県横浜市の地域魅力を発見・発信する市民プロジェクト「Yocco18」は、X（旧 Twitter）にて「#Yoccoの1日」のハッシュタグを用いたオリジナルキャラクターによる地域紹介を毎日発信している（公式 X アカウント：@yokohamal8ku）。Yoccoとは「Your Own City Is Colorful and One of a kind」の頭文字をとって造られた頭字語であり、「それぞれの街に多彩でユニークな魅力がある」というメッセージに「横浜」の「ヨコ」がかけられている。同プロジェクトでは横浜市の行政区18区ごとに各区の特徴を盛り込んだキャラクターが制作されており、妖精である彼女たちは横浜駅近くの大学で地理や地域政策を学ぶゼミ生仲間という設定である（Yocco18）。ハッシュタグ「#Yoccoの1日」を付した投稿は原則として毎日12:00に公開され、「キャラクター名+セリフ形式によるその区のスポット紹介+ハッシュタグ」という形式をとる。たとえば、2024年1月1日の投稿では、横浜市旭区にある白根神社に祀られている白瀧龍神について以下のように紹介されている。

鶴ヶ峰あさひ

「2024年は辰年ね！ 白根神社の境内、中堀川沿いに白瀧龍神が祀られているわ。神秘的な雰囲気のお祠ね！

この辺りには白根不動の龍という民話も残されているそうよ。」

#Yoccoの1日

（出典：Yocco18によるXでの2024年1月1日12:00の投稿
<https://x.com/yokohamal8ku/status/1741655490587992344?s=20>）

上記の投稿では、旭区のキャラクターである「鶴ヶ峰あさひ」が同区に所在する「白根神社」について紹介している。Yocol18のキャラクターは18区各区に設定されているため、キャラクター名からどの区についてのものか分かる仕組みになっている。上記の場合、(1) 旭区に所在する「白根神社」に、(2) 「白瀧龍神」という祠が祀られており、(3) 「白根不動の龍」という民話が残されている、の3点がポイントとなる。区の地域性を反映した性格を持つキャラクターがスポットを紹介するという形をとることにより、投稿を目にした人々が単に情報を知るだけにとどまらず、その場所に魅力を感じる効果が高まると考えられる。

筆者は個人のXアカウントで「Yocol18」のアカウントをフォローしており、それがきっかけとなり、運営者であるYocco株式会社の遠藤望氏、坂口祐太氏と知り合う機会を得た。遠藤氏はYocol18の原作者であり、坂口氏はYocol18公式Xアカウントの運営を担当する。筆者は横浜市内在住であり、Yocol18を応援する中で、プロジェクトの発展のために自分にも何かできることはないだろうかと考えようになった。筆者は自身の専門領域である言語学や英語の知識を生かしたボランティア活動に携わりたいとかねてから考えており、横浜18区の地域の魅力を横浜市民や日本人のみならず英語圏の外国人に対しても紹介する活動である「Yoccoの1日」の英訳企画が提案された。「自身が持つスキルや得意なこと」を生かして社会貢献するという筆者の目標とYocco株式会社によるプロジェクトの展開イメージが合致し、かくして「Yoccoの1日」英語発信企画がスタートすることとなった。

(2) 企画概要

以下では、2023年4月18日に横浜市内で行われた筆者とYocco株式会社による打ち合わせ内容をもとに、「Yoccoの1日」英語発信企画の概要を説明する。

本企画は、Yocol18公式X（企画立ち上げ当時はTwitter。以下、イーロン・マスク氏によるTwitterからXへの改称以前に公表された資料を引用する場合にはTwitterと称する）で発信されている「#Yoccoの1日」の英語訳バージョンを作成し、Instagram等のアカウントで再投稿することにより、外国人（英語圏）に対し横浜18区の地域の魅力を紹介することを目的とする（遠藤 2023: 1）。英語版発信用のアカウントとして、Yocco株式会社の前身であり、坂口氏が起業した会社である「アンバサダーズジャパン株式会社」（現在は事業休止）がインバウンドビジネスの一環として訪日外国人観光客向けの発信用に運営していたInstagramアカウント（休止中）を活用する（遠藤 2023: 2）。同社はInstagramアカウントを用いて外国人のフォロワー向けに日本人のライフスタイルや身近な地域等の情報を発信していたため、Yocol18のコンセプトとも親和性が高いと判断されることが採用の理由である。

なお、Twitter（X）とInstagramを併用するうえで、両プラットフォームの違いにも留意しておく必要がある。「Yoccoの1日」英語発信企画を行ううえで、Twitterは拡散性の高さがメリットとなる一方でアーカイブ性の低さがデメリットとなり、他方Instagramは拡散性が低いもののアーカイブ性の高さがメリットとなると、遠藤（2023: 3）は指摘する。

SNS全体の傾向については、松田（2022: 147-54）によると、TwitterとInstagramでは利用者の趣味の内容や社交性に差が見られるという。Twitterの主な利用者はマンガやアニメ、ゲームなどいわゆる「オタク」系の趣味を好む層であり、一方でInstagramの主な利用者はファッション、旅行、スポーツなど、「外向き」の趣味を好む人が多いという特徴があるとされる。

また、「Yoccoの1日」英語発信企画の類似事例としては、Instagramを利用した英語投稿活動を大学教養科目で実践したと報告している吉枝（2022）が挙げられる。吉枝（2022: 85）では、Instagramは大多数の学生によって愛好されるSNSであると同時に、国際的には英語での利用が主流であると指摘されている。

一方、Twitter（X）やInstagram以外のプラットフォームに目を向けると、例えば高谷（2017: 14）はFacebookについて、もともとアメリカの大学生のために開発されたSNSであるため特に海外の学生に人気が高いと述べる。ただし、高谷（2017: 23-4）が同時に指摘するように、Facebookは実名や学校・職場などのプライバシーをもオープンにすることを推奨するサービスであり、この実名制が特に見知らぬ人との関わりに警戒心を抱く女子学生の参入を妨げているという側面もあるようである。Facebookにおける実名主義に対して（高谷（2017）が研究対象とした）彼女らが抱く抵抗感は、沼田（2015）が指摘する「Facebookはおじさん・おばさんの道具」という大学生たちの間に広がる認識にも如実に表れている。このような実状を踏まえると、「オリジナルキャラクターを用いた地域の魅力の発信」とい

う指針で活動する Yocco18 にとって、Facebook は「ユーザー層的に、キャラクターとの親和性が低い」(遠藤 2023: 3) ことになる。従って、「Yocco の 1 日」英訳版を発信するための媒体としては、Facebook よりも Instagram を用いる方がより適切であると判断される。

(3) 実践内容

Yocco18 公式 X に投稿された「Yocco の 1 日」英訳版を Instagram に投稿する活動は下記のような形で実施された。

まず、発信のルールは以下のように設定された。

◆ 「Yocco の 1 日」英語発信企画のルール

- ① 選択する過去投稿は筆者の自由とする。
- ② プロフィールに日本人が英訳している旨を明記。ネイティブにとっての英語の自然さよりも意味の伝わりやすさを重視する。従って、必ずしも逐語訳にする必要はなく、原文の一部省略・文章構成の変更可。
- ③ 英訳の更新頻度は不定期とする。(筆者の負担がない程度で行う。)

(出典：遠藤 (2023: 3-4) を引用者が要約)

英訳版が実際に Instagram に投稿されるまでの流れは、以下のとおりである。

◆ 「Yocco の 1 日」英語発信企画の進め方

- ① 英訳したい X の過去投稿を筆者が自由に選ぶ。

↓

- ② 筆者の英訳を坂口氏がダブルチェック。坂口氏は日本語ネイティブであるため、ここで意図しているのはネイティブによる校正ではなく、誰かを不快にさせたり公序良俗に反したりなど、全く違う意味にとらえられる表現がないかのチェックである。

↓

- ③ ①、②を通過した英文を、Yocco18 英語発信企画用の Instagram (@yocco18_english) に遠藤氏が投稿する。

(出典：遠藤 (2023: 3-4) を元に作成)

次に具体例を記す。紙幅の都合上、以下では第 1 回目および第 5 回目のみを例示する。

第 1 回目は、2023 年 4 月 20 日に Yocco18 公式 X に投稿された紹介文を英語に訳した。

【原文】

戸部みらい

「みなとみらいにイカリが置かれているわ！みなとみらいセンタービルの工事中に発掘されたイカリで、1945 年に建造された「山汐丸」のものみたいよ！かつてこの場所が造船所だった歴史を感じることが出来るわね！」

#Yocco の 1 日

(出典：Yocco18 による X での 2023 年 4 月 20 日 12:00 の投稿
<https://x.com/yokohama18ku/status/1648884199259254784?s=20>)

↓

【訳文】

Mirai Tobe

"There is an anchor in Minatomirai! It was dug during the construction of Minatomirai Center Building, and originally came from Yamashio-maru, a ship constructed in 1945! This story tells you that this area used to be the docks!"

#Yocco18 #yocco の 1 日 #todaysyocco #yokohama #insta_yokohama #findyouryokohama #yokohama_love #myyokohama #internationalexchange #englishstudy

(出典：筆者による Instagram での 2023 年 6 月 2 日の投稿⁽¹⁾
https://www.instagram.com/p/Cs_jMBJxdcc/?utm_source=ig_web_copy_link)

上記の投稿の「戸部みらい」は横浜市西区のキャラクターである。みなとみらいが西区にあることを知識として知らなくても、「戸部みらい」が西区のキャラクターであることを知っていれば、投稿内で触れられているみなとみらいが西区の地域であることが分かるようになっている。なお、ハッシュタグ（【訳文】#Yocco18 から #englishstudy まで）は Yocco 株式会社と打ち合わせのうえ、筆者が考えたものを採用している。

筆者が作成した訳文がそのまま採用されとは限らず、Yocco 株式会社に求められた修正を経て Instagram に投稿されたケースもある。たとえば、第5回目「星川中央公園」（横浜市保土ケ谷区）について筆者が当初作成した英文は表現面や事実関係の誤りの指摘を受けたため、これを受け、筆者は訳文を修正した。

筆者は当初、下記の文面を Yocco 株式会社に提出した。

【原文】

星川とばり⁽²⁾

「横浜市の中心点は星川中央公園にあるわ！この場所はへそ広場の愛称でも親しまれていたよ！ちなみに、公園内の遊具は星がモチーフになっていて可愛いわ！」

#Yocco の1日

（出典：Yocco18 による X での 2023 年 4 月 9 日 12:00 の投稿
<https://x.com/yokohama18ku/status/1644897932683116545?s=20>）



【当初作成した英文】

Tobari Hoshikawa

"The geometric center of Yokohama City lies in Hoshikawa Central Park! This place is dubbed "Navel Space," where you can see cute playground equipment with star (hoshi) motifs!"

#Yocco18 #yocco の1日 #todaysyocco #yokohama #insta_yokohama #findyouryokohama #yokohama_love #myyokohama #internationalexchange #englishstudy

【修正点】

Tobari Hoshikawa

"The ~~geometric~~ center of Yokohama City lies in Hoshikawa Central Park! This place ~~is~~ *geographic (al)* was dubbed "Navel Space," where you can now see cute playground equipment with star (*hoshi*) motifs!"

#Yocco18 #yocco の1日 #todaysyocco #yokohama #insta_yokohama #findyouryokohama #yokohama_love #myyokohama #internationalexchange #englishstudy

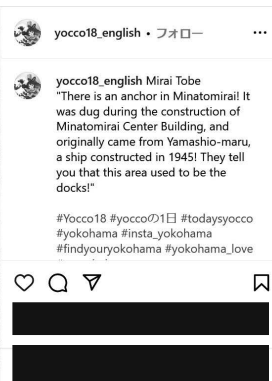
【坂口氏によるコメント】

- ・「geometric center」の geometric は幾何学なので相応しくないとされます。
地理的 (geographical か geographic) が適切ではないかと思いますが、いかがでしょうか。
- ・「This place is」は「This place was」としてください。
へそ広場と呼ばれていた運動グラウンドがリニューアルし、現在の公園になったためです。
（出典：2023 年 8 月 17 日に筆者と坂口氏の間で交わされた私信）

上記のやりとりを通して、事実関係の確認を徹底することの大切さを筆者は痛感した。特に、「へそ広場」から「星川中央公園」へのリニューアルの経緯を知らないと、文法的には正しいとしても事実と異なる訳し方をしてしまうおそれがある。「This place is」から「This place was」への変更を求められた体験から、翻訳という行為は外国語の表現や文法に関する知識があればできるのではなく、言語面以外の背景知識を身につけることも重要であることを学んだ。

X および Instagram に実際に投稿された内容の画像を図 1 および図 2 に示す。図 1 は第 1 回目投稿（西区みなとみらいに置かれた「山汐丸」のイカリ）、図 2 は第 5 回目投稿（保土ヶ谷区星川に所在する「星川中央公園」）の画像である。

図 1：Yocco18 公式 X による元投稿（左）と筆者による英訳の Instagram 投稿（右）



(横浜市西区)

図 2：Yocco18 公式 X による元投稿（左）と筆者による英訳の Instagram 投稿（右）



(横浜市保土ヶ谷区)

(右画像の出典：筆者による Instagram での 2023 年 9 月 19 日の投稿

https://www.instagram.com/p/CxYAIQKPwYl/?utm_source=ig_web_copy_link)

2 「Yocco の 1 日」英訳文の解説

上記の活動に加え、2023 年 9 月下旬から 10 月上旬にかけて、「Yocco の 1 日」英訳文にある文法・表現についての解説を記した PDF ファイルを X に投稿した。

筆者は SNS 上や対面での交流を通して、「Yocco18」ファンや地域関係者の多くがそれほど英語に精通していないことを知った。このような実状を鑑み、英訳文における英語表現や文の構造、文法面の解説が役に立つのではないかと考えた。このような背景に加え、英文の解説作成は自身の英語学習の機会にもなるだろうという動機から、解説を記した PDF ファイルを作成して Google Drive にアップロードし、ファイルへのリンクを筆者の X アカウントに投稿した。

第 1 回目の投稿(西区みなとみらい)を例に、筆者が実際に作成した PDF ファイルの画像を図 3 に示す。

図 3 : 「Yocco の 1 日」英訳文の解説を記した PDF ファイルの画像

Yoccoの1日 英訳 (yocco18_english)

投稿日(日)	原文	文字数(日)	文字数(英)	英語訳	投稿日(英)
2023/4/20	戸部みらい 「みなとみらいにイカリが置かれていたわ！みなとみらいセンタービルの工事中に発掘されたイカリで、1945年に建造された「山汐丸」のものとみらいよ！かつてこの場所が造船所だった歴史を感じることが出来るわね！」 #Yoccoの1日 https://twitter.com/yokohama18ku/status/1648884199259254784?s=20	118	381	Mirai Tobe "There is an anchor in Minatomirai! It was dug during the construction of Minatomirai Center Building, and originally came from Yamashio-maru, a ship constructed in 1945! This story tells you that this area used to be the docks!" #Yocco18 #yoccoの1日 #todaysoyocco #yokohama #insta_yokohama #findyouryokohama #yokohama_love #myyokohama #internationalexchange #englishstudy https://www.instagram.com/p/Cs_iMBjdcc/?utm_source=ig_web_copy_link&igshid=MzR	2023/6/2

【Vocabulary】・ anchor /æŋkə/ … 錨 ・ dig (dig - dug - dug - digging) /dig/ … ～を掘り出す ・ construction /kənstriːkʃən/ … 工事 ・ originally /əˈrɪdʒənəli/ … 元来、もともとは
・ construct /kənstrikt/ … ～を建造する ・ used to do … (今はそうではないが) かつては～だった ・ dock /dɒk/ … (通例複数形で) 造船所

【解説】 ① It was dug during the construction of Minatomirai Center Building

冒頭のitは第1文のanchorを指します。「be + 過去分詞」で受動態（「～される」）を表すので、ここではdigの過去分詞dugをbeとともに用いて「発掘された」の意味を表します。during the constructionは「工事中」の意。

② ... and originally came from Yamashio-maru, a ship constructed in 1945

andとoriginallyの間には主語it (= the anchor) を補って考えます。このandは文①のwas dug ...と文②のoriginally came from ...を等位接続するとみなすこともできます。Yamashio-maru and a ship constructed in 1945は同格（並列構文）で、「山汐丸がどのような船であったか」の補足として「1945年に建造された船」と後から説明されています。

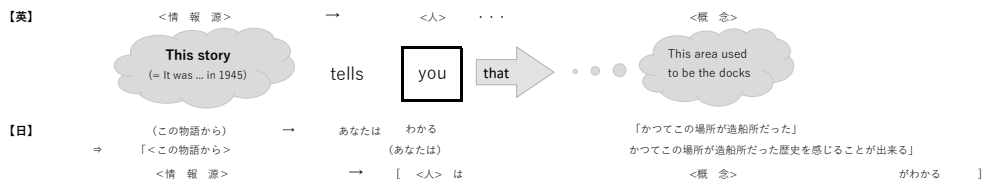
★ It [was dug during the construction of Minatomirai Center Building] and [(it) originally came from Yamashio-maru, a ship constructed in 1945]

同格

③ This story tells you that this area used to be the docks

いわゆる「無生物主語構文」であり、日本語では追加情報として表現されることが多い「原因 (cause/source)」を英語では事態を動かす「主語(agent)」として表現します。

★ 【英】



【X への投稿内容】

【お知らせ】

Yocco18_English Instagram に投稿された英訳の解説をまとめました。

第 1 回目の投稿（西区）の解説は以下のファイルをご覧ください ☺

なお、第 2 回目以降の投稿についても、解説ファイルを随時アップいたします。

https://drive.google.com/file/d/12mVprDUmEs_sPtN3TZ6XwU9HH57aQnUr/view

（出典：筆者による X での 2023 年 9 月 21 日 22:42 の投稿

https://x.com/K_Miyamoto0603/status/1704853696205693422?s=20）

図 4：筆者による X での「Yocco の 1 日」英訳文解説ファイルの投稿



「Yocco の 1 日」英訳文解説の投稿は、筆者の修士学位申請論文執筆時期と重なったこともあり、10 月以降更新が止まっている。本活動は不定期のボランティア活動であり、更新頻度は筆者の任意であるため、学業が一段落した時点で再開を予定している（なお筆者は 2023 年度で修了予定である）。

3 活動の振り返り

(1) SNS 投稿への反応

「Yocco の 1 日」英語発信企画への反応は、筆者が事前に期待していたほどではなかった。それでも、英訳を投稿した Instagram には「いいね！」が数件ついた。ただし「いいね！」したアカウントは、前節で言及した「Yocco18」のファンの方や地域関係者をはじめ、筆者が個人の X アカウントでもともと知り合い（相互フォロー）だった日本人（日本語ネイティブ）⁽³⁾ が中心であった。一方、英語圏の出身・在住と思われるアカウントからの反応はほとんど見られなかった（この結果については、英語を母語とする人の目に触れたが、そのアカウントから「いいね！」が押されなかった可能性も考えられる）。

また、「Yocco の 1 日」英訳文解説ファイルの X 投稿については、フォロワーから「いいね」⁽⁴⁾ を含む反応がもらえたり、自身の英語学習の一助になったりと、貴重な経験ができたものと思っている。しかしながら、英訳文の解説はあくまで日本人（非英語ネイティブ）の X ユーザーに向けて語学的な視座から説明を加えた活動であり、Instagram における英文の投稿とは別である。そのため、X への投稿に反応が集中する現状に満足するのではなく、「横浜の魅力を英語圏の外国人ユーザーに伝える」という当初の目標を達成するための方策を引き続き検討したい。

(2) 所感

筆者は当初、「Yocco の 1 日」投稿活動を Instagram に拡大することにより、英語圏のアカウントから数多くの「いいね！」や返信がつくものと見込んでいた。しかし、実際にはすでに面識がある方々からの反応が中心であり、投稿への返信はほぼ皆無であった。今回の活動を通して、SNS 投稿を多くの人々に見てもらふことや大きな反響を巻き起こす（いわゆる「バズる」投稿を生み出す）ことの難しさを実感した。

(3) 結果の原因分析

「いいね！」や返信などの反応が得られなかった理由には、以下の原因が考えられる。

まず、本活動においては「いいね！」の数をいくつ得るか、フォロワーを何人獲得するかといった具体的な数値目標を特に定めておらず、反応が少ない状況を問題視していなかったという発信側の考え方が背景にある。「Yocco の 1 日」英語発信企画はあくまでボランティア活動の一環という位置づけであり、SNS 上の反応を促進することで消費意欲を掻き立てるといったビジネス的な発想とは一線を画すものである。そのため、SNS を用いてビジネスを展開する者にとって重要な「いいね！」やコメント、フォロ

ワーの数を増やすことに筆者らが注力していなかったことが要因として挙げられるだろう。

また、発信の対象となる外国人に対して「Yocco18」のキャラクターについて特に説明しておらず、発信を通して伝えたい内容が彼らに十分に伝わらなかった可能性もある。例えば、図1では「Mirai Tobe」（「戸部みらい」）というキャラクター名を説明なしに使用している。日本人の「Yocco18」ファンは「戸部みらい」が横浜市西区のキャラクターであることを知っているため、投稿で紹介されているイカリが西区みなとみらいのものと理解できるが、「Yocco18」を知らない外国人は「Mirai Tobe」の意味が分からないために Instagram の投稿を読まないかもしれない。前提となるキャラクターに関する情報をあらかじめ共有しておくことも英語使用者からの反応を得るための方策として考えられる。目標言語の使用者の知識や文化的背景を考慮した訳出はプロの通訳者・翻訳者に求められるスキルのひとつでもあり（鳥飼 2013: 3）、今回の英語発信企画においても同様の配慮が必要であっただろう。

なお、プロジェクト趣旨を説明した英文（図5）を第1回目の英訳文（図1の右図）とあわせて試験的に Instagram に投稿しており、発信者の活動目的や投稿の方向性についてはすでに参照することができる状態となっている。この説明文は、筆者が用意した文章をもとに Yocco 株式会社が一部加筆したものである。しかしながら、プロジェクト全体についての説明は活動開始当初の1回にとどまっており、最初の投稿を見逃している人も一定数いると思われる。後から「Yocco18」や「Yocco の1日」英語発信企画を知った人にもプロジェクトの内容を知ってもらえるよう、プロフィールの説明や同試験投稿へのリンクを筆者の X などに随時再投稿する必要があったかもしれない。

図5：Yocco18による「Yocco の1日」英語発信企画に関する説明の Instagram 投稿



【Instagram への投稿文】

The account name has been changed to "Yocco18_English".

Yocco18 is a Japanese project in which its original characters provide information about Yokohama City for people interested in the community. "Yocco" means "Your Own City is Colorful and One of a kind". The project members are the same as "Ambassadors Japan". We have started this account because we also want international followers to know the appeal of Yokohama. We hope you will enjoy the city through our posts!

All the English posts come from Japanese tweets (#yoccoの1日), translated by Japanese people who are NOT English native speakers. We are thoroughly careful of the accuracy of the information.

#Yocco18 #yocco の1日 #todaysyocco #yokohama #insta_yokohama #findyouryokohama #yokohama_love #myyokohama #internationalexchange #englishstudy

・English translation: Special thanks to Keita Miyamoto (a graduate student at Aoyama Gakuin University) ⁽⁵⁾

(出典：Yocco18によるInstagramでの2023年6月1日の投稿

https://www.instagram.com/p/Cs82xFXPzcB/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRlODBiNWFiZA==)

(4) 今後の課題

(3) を踏まえた今後の課題としては、「いいね！」するアカウントの多様化が挙げられる。「Yocco18」ファンや地域関係者、X における知り合い（相互フォロー）以外のアカウントからも反応がある状況が理想である。本活動の目的は「英語圏の外国人に横浜の魅力を伝える」ことであるため、投稿を見てくれる人をコミュニティの内部で完結させるのではなく、新規フォロワーの獲得に向けたプロモーションの効率化を図る必要があると考えられる。

(5) 目標達成に向けた展望

上記で記した課題を解決し、本プロジェクトの目標を達成するための今後の展望を以下に述べる。

まず、「Yocco の 1 日」英訳文は 2024 年 2 月時点で計 8 回しか投稿できていない。当面は英訳文の投稿数を増やすことが第一の目標である。投稿数が多ければそれだけ閲覧者も増える可能性が上がるからである。2023 年 4 月に本活動を開始したとき、Yocco 株式会社から「まずは 1 年間限定で活動してみる」ようにすすめられた。本稿提出締切日（2024 年 2 月末）で活動開始から 10 か月が経過し、もうすぐ 1 年になろうとしているが、筆者としては 1 年という期間にこだわらず、引き続き活動を継続していきたいと考えている。他の仕事などもしながらで時間的制約はあるものの、2024 年内に最低 18 回（1 区 1 回ずつ）は投稿したい。

投稿数が一定程度増えた後は、英語圏の外国人に対する認知度向上を目指したい。2024 年 2 月 8 日時点で、Yocco18 英語発信企画用 Instagram (yocco18_english) のフォロワーは 215 名である。その中に外国籍と思われる人物のアカウントが数名含まれているが、彼らはフォローのみを行い、投稿には積極的な反応を示さない非アクティブ層であると見られる（本アカウントは Yocco 株式会社の前身「アンバサダーズジャパン株式会社」のアカウントを活用したものであるため、当時のフォロワーが残っている可能性もある）。筆者の投稿が英語圏の外国人の目に留まり、好意的な反応がもらえるようにするためには、現時点でフォローのみしている非アクティブ層の外国人に訴求するコンテンツを制作したり、新規の外国人フォロワーを獲得したりするといった方策が考えられる。ただし、対象となる英語圏のアカウントがアクティブではない（ユーザーが当該のアカウントを運用していない）場合、投稿を閲覧してもらえる蓋然性は低くなる。また、SNS のタイムラインに表示される投稿は各個人の選好性によって変容するといわれ、Yocco18 英語発信企画の投稿が彼らにとって興味があるコンテンツではないとプラットフォーム側で判定されている場合、投稿内容を工夫したとしても対象者のタイムラインで表示されず、結果として彼らの目に触れないことも想定される。従って、現在の外国人フォロワーに訴求するよりも新規のフォロワーを増やし、彼らに感心を持ってもらう方が容易に目標達成につながると考えられる。

英語圏の新規フォロワーをどのように獲得するか、その具体的方法は目下検討中であるが、例えば、いわゆるインフルエンサーが Instagram の投稿においてよく用いるハッシュタグを「Yocco の 1 日」英訳文の投稿に用いたり、X など別の SNS アカウントの外国人フォロワーに「Yocco の 1 日」英語発信企画用 Instagram のアカウントをフォローしてもらえようような仕組みを構築したりするといった手法が考えられる。

おわりに

本稿では、横浜市の地域魅力発見プロジェクト「Yocco18」との社会連携の一環として筆者が行ってきた、彼らが X において運営している「Yocco の 1 日」の投稿の英訳版を Instagram に再投稿する活動について報告した。最後に、今回の活動が筆者のキャリア形成や自身の進路志望とどう関わるかを記すこととしたい。

筆者は進路のひとつとして、自身の専攻領域である英語や言語学の知識を生かした起業も考えている。Yocco 株式会社は、「Yocco の 1 日」を通して横浜の魅力を広める活動をはじめ、地域ブランディングを軸としたソーシャルビジネスを展開している。筆者は個人的に「Yocco18」のキャラクターのファンでもあるが、ファンという立場を離れて自らの将来を考えたとき、親しみにくい内容を平易に伝えるための方策など、彼らの活動内容や（ビジネスとして見た場合の）マーケティング手法は学ぶべきところが多いと考えている。彼らの地域活動における「難しい内容を分かりやすく」というテーマは、学術的・専門的内容を非専門家向けにどう伝えるかという学術界（大学院を含む）における課題と通底する。筆者の専門で言えば、言語学の専門用語を延々と並べて講釈したところで一般の人々は言語学に興味を持

たない。一般の人々に言語学を面白いと思ってもらうためには、例えば（「Yocco18」のような）キャラクターを制作し、キャラクターを通して言語学に関心を寄せてもらうといった工夫を検討すべきだろう（キャラクター制作に固執しているのではなく、興味のきっかけとなる機会を提供する工夫が大切であるという主張である）。これは言語学に限らずどの学問分野にも言えることではないだろうか。筆者の活動テーマはこのような問題意識から出発しているものである。今回のボランティア活動は、「専門から一般への架け橋」となるうえで一種の下積みとしての位置づけとなりうると考える。

「Yocco の 1 日」英語発信企画は開始からまだ日が浅く、現段階では満足のいく成果を出したとはいえない。英訳文の投稿数が少ないうえ、フォロワーの属性に偏りがあり、「いいね！」などの積極的な反応を示す層も日本語ネイティブが中心だからである。日本人だけでなく英語圏の外国人にも投稿を見てもらい、横浜の地域性を好意的にとらえてもらうためには、漫然と英訳活動が続けるのではなく、ターゲットとなる外国人がどのような SNS 投稿に魅力を感じるのかを調査したうえで、データの分析に基づいて活動を展開すべきである。2023 年は筆者の学業や仕事に伴う物理的制約から上記のような手法がとれなかったが、2024 年は大学院修了により筆者の裁量による部分が大きくなる見込みである。X における「Yocco の 1 日」英訳文の過去投稿の解説を引き続き行っていくことと、Instagram において英語圏の外国人フォロワーを増やすこと、そして彼らに横浜の魅力が伝わり、紹介したスポットを訪れてみたいといった好意的な反応が目に見える形で引き出せるように活動を展開していくことが今後の目標である。

謝辞

本プロジェクトの実施に際して、英訳文の出典元となる公式 X を運営する Yocco 株式会社の遠藤望氏および坂口祐太氏に多大なご協力をいただいております。青山学院大学における筆者の専攻と進路の希望を汲み、活動指針に関して有益な助言をくださった遠藤氏、「Yocco の 1 日」英訳文を Instagram に投稿するにあたり英文のチェックと修正点の指摘をいただいた坂口氏に、この場を借りてお礼申し上げます。

注

- (1) 実際に投稿しているのは遠藤氏であるが、便宜上「筆者による投稿」と表現している。
- (2) 「星川とばり」は Yocco18 の保土ケ谷区のキャラクターである。
- (3) 厳密に言うと、学術的には「日本人」と「日本語ネイティブ」は異なる概念である。民族的に「日本人」である（と自覚する）者が必ずしも「日本語ネイティブ（＝日本語を母語（第一言語）とする者）」であるとは限らず、同様に日本語を母語とする者が民族的にも日本人であるとは限らないからである。最近の例を挙げると、ミス日本グランプリ（後に私生活に関する一部報道を受け辞退）に選出された椎野カロリーナ氏はウクライナ人の両親をルーツに持ち、民族的には「日本人」ではないが、彼女は幼少期より日本で暮らしているため、日本語を第一言語として生活しているという。ポリティカル・コレクトネスのみならず言語学の観点からも、言語は民族的出自に関係なく習得されるため（久保田 2007: 11）、「日本人」と「日本語ネイティブ」を同義に用いるのは避けるべきである。しかしながら、本稿では簡略化のためにあえて「日本人」という用語を「日本語ネイティブ」の意で用いている場合があることに注意されたい。
- (4) X における公式表記では「いいね（like）」にエクスクラメーションマーク（!）がつかない（「〇〇さんがあなたのポストをいいねしました」／「〇〇 liked your post」）が、Instagram ではエクスクラメーションマーク（!）がついた「いいね！」の表記（「〇〇他が「いいね！」しました」／「Liked by 〇〇 and others」）が採用されているため、本稿でも X と Instagram で表記を区別する。
- (5) 筆者による日本語訳を下掲する（補足箇所を〈 〉で示す）。

〈「アンバサダーズジャパン株式会社」の〉アカウント名が「Yocco18_English」に変更されました。

「Yocco18」はオリジナルのキャラクターたちが〈横浜の〉地域に関心のある人々に横浜市の情報を提供する日本のプロジェクトです。「Yocco」とは「Your Own City is Colorful and One of a kind」〈それぞれの街に多彩でユニークな魅力がある〉の意です。プロジェクトのメンバーは「アンバサダーズジャパン」と同じです。私

横浜市市民プロジェクト「Yocco18」公式 SNS 投稿の英訳を通じた、横浜の魅力の英語圏への紹介活動

たちがこのアカウント〈による発信〉を始めたのは、海外のフォロワーにも横浜の魅力を知ってほしいと考えているためです。投稿を通して〈横浜〉市〈のスポットやその魅力〉を楽しんでいただけたら幸いです！

英文による投稿はすべて日本語のツイート（#yocco の 1 日）に基づくものであり、英語を母語としない日本人によって英訳されています。私たちは情報の正確性に細心の注意を払います。

#Yocco18 #yocco の 1 日 #todayisyocco #yokohama #insta_yokohama #findyouryokohama #yokohama_love #myyokohama #internationalexchange #englishstudy

・英訳：宮本恵太氏（青山学院大学大学院生）に謝意を表します。

参考文献

遠藤望, 「Yocco の 1 日 英語発信企画」, Yocco18, 2023.

久保田正人, 『ことばは壊れない：失語症の言語学 <開拓社 言語・文化選書 4>』, 開拓社, 2007.

松田美佐, 「若者のコミュニケーション・メディア利用 2020：Twitter 愛好者と Instagram 愛好者」『中央大学紀要・社会学・社会情報学』 32: 143-157, 2022.

宮本恵太, (Instagram による投稿：2023 年 6 月 2 日), 2023, (https://www.instagram.com/p/Cs_jMBJxdcc/?utm_source=ig_web_copy_link, 2024.1.30 アクセス)

宮本恵太, (Instagram による投稿：2023 年 9 月 19 日), 2023, (https://www.instagram.com/p/CxYAIQKPwYl/?utm_source=ig_web_copy_link, 2024.1.30 アクセス)

宮本恵太, (X による投稿：2023 年 9 月 21 日), 2023, (https://x.com/K_Miyamoto0603/status/1704853696205693422?s=20, 2024.1.30 アクセス)

沼田利明, 「Facebook、若者離れ&ユーザー激減が深刻…もはや、おじさんの道具？」『ビジネスジャーナル』, 2015, (http://biz-journal.jp/2015/09/post_11583.html, 2024.2.11 アクセス)

高谷邦彦, 「ソーシャルメディアは新しいつながりを生んでいるのか：女子学生の利用実態」『名古屋短期大学研究紀要』 55: 13-27, 2017.

鳥飼玖美子編著, 『よくわかる翻訳通訳学』, ミネルヴァ書房, 2013.

Yocco18, (X による投稿：2023 年 4 月 9 日), 2023, (<https://x.com/yokohama18ku/status/1644897932683116545?s=20>, 2024.1.30 アクセス)

Yocco18, (X による投稿：2023 年 4 月 20 日), 2023, (<https://x.com/yokohama18ku/status/1648884199259254784?s=20>, 2024.1.30 アクセス)

Yocco18, (Instagram による投稿：2023 年 6 月 1 日), 2023, (https://www.instagram.com/p/Cs82xFXPzcB/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRlODBiNWFlZA==, 2024.4.9 アクセス)

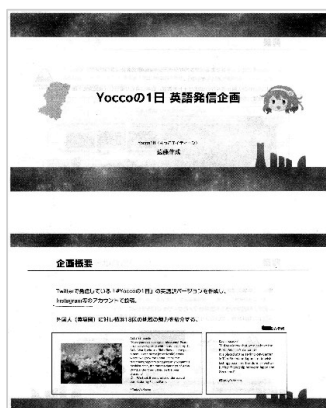
Yocco18, (X による投稿：2024 年 1 月 1 日), 2024, (<https://x.com/yokohama18ku/status/1741655490587992344?s=20>, 2024.2.11 アクセス)

Yocco18, 「Yocco18 とは？」 (<https://www.yocco18.com/pages/3694785/about>, 2024.2.10 アクセス)

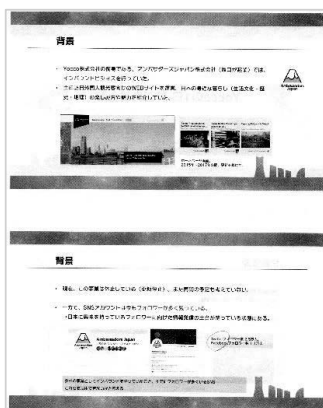
吉枝恵, 「英語アウトプットの間としてのインスタグラムの教育的な利用」『JACET 中部支部紀要』 20: 85-100, 2022.

資料

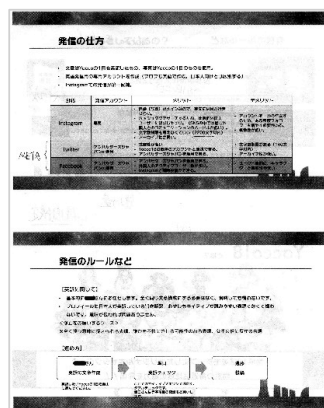
「Yocco の1日 英語発信企画」(遠藤 2023) ※筆者による打ち合わせ時のメモ書きあり



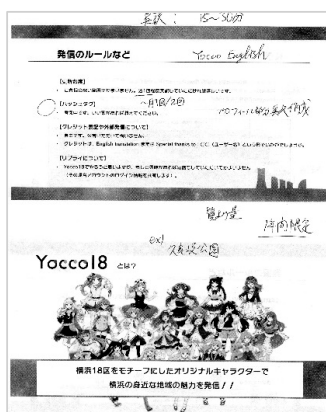
p.1



p.2



p.3



p.4



p.5